

人口減少下の農村ビジョンを考える ～市町村消滅論を越えて～

■日時 2024年7月6日(土)13:30～17:00 (開場12:30)

■会場 東京大学弥生講堂・一条ホール (東京大学農学部内)



東京都文京区弥生1-1-1・東京メトロ南北線「東大前」駅1番出口 「東大農正門」脇

■参加費 2千円 (学生1千円) (当日受付時現金にて) ■定員 250名

■主催 特定非営利活動法人中山間地域フォーラム

食料・農業・農村基本法の見直しに加え、人口戦略会議が、「消滅可能性自治体」リストを公表するなど、中山間地域の今後を見据えた動きが活発です。一方、中山間地域の現場からは、今回の推計に一喜一憂せず、冷静にその本質を議論すべきという声も挙がっています。

今回のシンポジウムでは、現場の挑戦を共有しながら、農村が人口減少局面にどのように向き合い、将来ビジョンを描き出すべきか、議論したいと思います。また、好評だった懇親会を復活します。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

プログラム

- 12:30 開場 司会：東京大学大学院 西原 是良
- 13:30 開会・挨拶 中山間地域フォーラム副会長 野中 和雄
- 13:40 解題(15分) 「増田レポートから10年を振り返る－地方創生と現場の反応－」
法政大学現代福祉学部教授・農林水産省中山間地域等直接支払制度に関する第三者委員会委員長 関司直也 氏
- 13:55 基調講演(30分) 「令和の大生奉還」
株式会社雨風太陽代表取締役・能登半島地震復旧復興アドバイザー
ボード委員 高橋博之 氏
- 14:25 休憩(15分)
- 14:40 現場レポート 『キャンペーン「この地でずっと」の報告と新旧地方消滅論の波紋』
(20分) 日本農業新聞編集局メディアセンター部次長 尾原 浩子 氏
- 15:00 地域からの報告① 「小国町の取り組み事例」 (マルチワーク、移住コミュニティ、高校魅力化)
(20分) 山形県小国町総務企画課 横山 真由美 氏
- 15:20 地域からの報告② 「森のめぐみはタダでよかですか？」
(20分) 熊本県水保市久木野ふるさとセンター愛林館館長 沢畑 亨 氏
- 15:40 休憩 (15分)
- 15:55 パネルディスカッション (60分)
「人口減少下の農村ビジョンを考える」
【進行】関司直也氏 【コメンテーター】高橋博之氏
【パネリスト】尾原浩子氏、横山真由美氏、沢畑 亨氏
- 16:55 閉会挨拶 中山間地域フォーラム会長 生源寺 眞一
- 17:00 閉会

★終了後懇親会 弥生講堂ロビー・立食形式 会費：4千円 (受付時現金にて)

お申込み・お問合せ

- 【件名】 シンポ申し込み
【本文】 ①氏名、②所属、③勤務地または住所の都道府県名
④懇親会参加の有無(当日参加も可能です)
⑤会員・非会員(どちらかを削除)

送信先

tebento-staff@chusankan-f.org

締切▶7月5日(金)正午(先着順)

中山間地域フォーラムHPにも
申込フォームを掲載予定